2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社フレアス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7062	URL	https://fureasu.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長ＣＥＯ	（氏名）	澤登　拓
問合せ先責任者	（役職名） 取締役ＣＦＯ	（氏名）	高階　陽介　(TEL) 03(6632)9210
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	3,233	△29.6	181	132.4	182	45.9	127	△53.3
2026年３月期中間期	4,593	28.7	78	―	124	―	273	―

（注）包括利益　2027年３月期中間期　127百万円（△53.4%）　2026年３月期中間期　273百万円（　―%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	48.93	48.74
2026年３月期中間期	106.04	105.23

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	5,254	2,280	43.4
2026年３月期	5,391	2,180	40.4

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　2,279百万円　2026年３月期　2,179百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	10.57	10.57
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	10.57	10.57

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,586	△13.8	520	77.5	480	42.4	330	△35.1	126.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,608,600株	2026年３月期	2,608,600株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	65株	2026年３月期	65株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,608,535株	2026年３月期中間期	2,579,119株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結損益計算書関係） …… 9
（中間連結キャッシュ・フロー計算書関係） …… 9
（セグメント情報等） …… 10
（企業結合等関係） …… 10
（収益認識関係） …… 11

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢を背景とした原油価格の高止まりや物価上昇の継続、日本銀行による政策金利の引上げに伴う金利の上昇、為替相場の変動に加え、令和８年熊本地震をはじめとする自然災害の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する在宅マッサージ業界及び介護業界におきましては、少子高齢化が加速するなか、医療機関における病床数の減少が見込まれるとともに、政府による地域包括ケアシステムの構築の推進活動と相まって、在宅療養の重要性がますます高まってきております。

このような状況のもと、当社グループは、前連結会計年度において医療対応型療養施設の全部及び看護小規模多機能型居宅介護施設の一部を事業譲渡いたしました。これにより、当中間連結会計期間の売上高は前年同中間期を大きく下回りました。一方、譲渡した事業に係る損失が解消されたことにより、メディカルケア事業のセグメント損益が利益に転じ、加えて全社費用も減少したことから、営業利益及び経常利益は前年同中間期を上回りました。なお、前年同中間期は事業譲渡益を特別利益に計上していたため、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同中間期を下回りました。

今後は、高齢者人口がピークを迎える「2040年問題」の到来を見据え、祖業であるマッサージ直営事業及びマッサージフランチャイズ事業に経営資源を集中させ、サービス提供地域の拡大とマッサージ及び鍼灸サービス利用者のさらなる拡大を通じて、超高齢社会における課題解決企業として貢献してまいります。

また、当社グループは、超高齢社会において在宅療養を支える人材の確保・定着が事業基盤そのものであるとの認識に立ち、当中間連結会計期間において従業員を対象とした賃金水準の引上げを含む処遇改善を実施いたしました。

はり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費につきましては、2026年７月１日以降の施術分から改定（改定率＋0.60%）が適用されており、当中間連結会計期間の業績には改定の影響が含まれております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は3,233,936千円（前年同中間期比29.6%減）、営業利益は181,296千円（前年同中間期比132.4%増）、経常利益は182,102千円（前年同中間期比45.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は127,624千円（前年同中間期比53.3%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①マッサージ直営事業

マッサージ直営事業では、筋麻痺や関節拘縮といった症状が進行した利用者に対し、日常生活動作能力（ＡＤＬ能力）の維持・向上を目的として、従前よりも高頻度な施術の提案に取り組んでまいりました。当中間連結会計期間においては、鍼灸施策の推進により鍼灸レセプト数が増加し、売上高は前年同中間期を上回りました。一方、施術者の処遇改善を目的とした賃金水準の引上げ及びサービス提供体制の拡充に伴う経費が増加したことから、増収減益となりました。

以上の結果、売上高は2,187,803千円（前年同中間期比3.9%増）、セグメント利益は502,916千円（前年同中間期比20.7%減）となりました。

②マッサージフランチャイズ事業

マッサージフランチャイズ事業では、当中間連結会計期間末における加盟店数は363拠点（前年同中間期末比2.5%増）となりました。

ロイヤリティ収入は増加いたしましたが、提携施設売上及び新規加盟に係る研修料等の売上が減少したことから、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は547,518千円（前年同中間期比2.9%減）、セグメント利益は108,801千円（前年同中間期比27.2%減）となりました。

③メディカルケア事業

メディカルケア事業においては、前連結会計年度における事業譲渡により、前年同中間期において売上高の大部分を占めていた医療対応型療養施設事業の収益が当中間連結会計期間には含まれていないため、売上高が大幅に減少いたしました。一方で、看護小規模多機能型居宅介護施設においては、地域の医療機関等に対する営業活動の強化等に

より稼働率が計画を上回る水準で推移し、収益性が改善いたしました。

以上の結果、売上高は480,827千円（前年同中間期比74.9%減）、セグメント利益は49,362千円（前年同中間期はセグメント損失138,727千円）となりました。

④その他の事業

その他の事業は、訪問介護事業及び居宅介護支援事業等であります。

売上高は17,787千円（前年同中間期比122.2%増）、セグメント損失は8,965千円（前年同中間期はセグメント利益74千円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は、4,076,530千円となり、前連結会計年度末に比べ78,431千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が329,387千円減少した一方、売掛金が148,919千円及び立替金が120,084千円増加したことによるものであります。

また、固定資産は、1,177,644千円となり、前連結会計年度末に比べ58,677千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他が28,836千円及びリース資産が12,943千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,254,175千円となり、前連結会計年度末に比べ137,108千円減少いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は1,857,239千円となり、前連結会計年度末に比べ105,659千円減少いたしました。これは主に短期借入金が70,000千円及び未払法人税等が59,330千円減少したことによるものであります。

また、固定負債は1,116,617千円となり、前連結会計年度末に比べ131,736千円減少いたしました。これは主に長期借入金が105,999千円及び社債が30,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,973,857千円となり、前連結会計年度末に比べ237,396千円減少いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は2,280,318千円となり、前連結会計年度末に比べ100,287千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益127,624千円の計上及び剰余金の配当27,572千円により利益剰余金が100,052千円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年５月15日公表の業績予想から変更はありません。なお、今後、業績予想の修正が必要と判断される事象が生じた場合には、速やかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,617,219	1,287,831
売掛金	1,219,074	1,367,993
貯蔵品	14,460	15,724
立替金	1,158,725	1,278,809
その他	148,078	128,434
貸倒引当金	△2,595	△2,263
流動資産合計	4,154,961	4,076,530
固定資産		
有形固定資産		
建物	106,413	101,502
構築物	10,642	9,891
工具、器具及び備品	14,564	11,106
リース資産	512,680	499,737
その他	0	7,142
有形固定資産合計	644,300	629,380
無形固定資産		
のれん	145,310	134,065
契約関連無形資産	165,384	153,846
リース資産	3,235	2,391
その他	22,487	36,034
無形固定資産合計	336,418	326,337
投資その他の資産		
繰延税金資産	60,569	63,429
その他	195,033	166,197
貸倒引当金	－	△7,700
投資その他の資産合計	255,602	221,926
固定資産合計	1,236,321	1,177,644
資産合計	5,391,283	5,254,175
負債の部		
流動負債		
短期借入金	850,000	780,000
1年内返済予定の長期借入金	245,044	218,290
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
リース債務	22,686	12,362
未払金	379,040	429,257
未払法人税等	120,617	61,286
賞与引当金	80,902	88,952
その他	204,607	207,089
流動負債合計	1,962,898	1,857,239
固定負債		
長期借入金	191,276	85,277
社債	180,000	150,000
リース債務	586,545	585,081
退職給付に係る負債	13,794	16,552
役員退職慰労引当金	－	4,581
繰延税金負債	58,777	52,753
その他	217,961	222,371
固定負債合計	1,248,354	1,116,617
負債合計	3,211,253	2,973,857

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	713,290	713,290
利益剰余金	1,415,540	1,515,592
自己株式	△70	△70
株主資本合計	2,178,759	2,278,812
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	375	454
その他の包括利益累計額合計	375	454
新株予約権	895	1,051
純資産合計	2,180,030	2,280,318
負債純資産合計	5,391,283	5,254,175

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	4,593,087	3,233,936
売上原価	2,622,963	1,649,198
売上総利益	1,970,124	1,584,738
販売費及び一般管理費	1,892,112	1,403,441
営業利益	78,011	181,296
営業外収益		
助成金収入	116,899	19,475
違約金収入	5,480	4,045
その他	9,011	7,080
営業外収益合計	131,391	30,601
営業外費用		
支払利息	77,914	17,839
貸倒引当金繰入額	－	7,700
その他	6,701	4,255
営業外費用合計	84,615	29,795
経常利益	124,788	182,102
特別利益		
事業譲渡益	282,408	－
新株予約権戻入益	20,454	－
特別利益合計	302,862	－
特別損失		
固定資産除却損	421	1,564
特別損失合計	421	1,564
税金等調整前中間純利益	427,229	180,538
法人税、住民税及び事業税	179,367	61,798
法人税等調整額	△25,633	△8,883
法人税等合計	153,734	52,914
中間純利益	273,494	127,624
親会社株主に帰属する中間純利益	273,494	127,624

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	273,494	127,624
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	340	78
その他の包括利益合計	340	78
中間包括利益	273,835	127,703
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	273,835	127,703

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	427,229	180,538
減価償却費	116,616	41,946
のれん償却額	19,860	11,244
貸倒引当金の増減額（△は減少）	351	7,367
受取利息	△1,043	△2,359
支払利息	77,914	17,839
事業譲渡損益（△は益）	△282,408	－
助成金収入	△116,899	△19,475
違約金収入	△5,480	△4,045
売上債権の増減額（△は増加）	27,063	△148,919
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,338	△1,263
立替金の増減額（△は増加）	△433,272	△120,084
未払金の増減額（△は減少）	88,736	22,749
預り保証金の増減額（△は減少）	8,299	4,392
賞与引当金の増減額（△は減少）	△34,448	8,049
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,061	2,836
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	－	4,581
その他	9,529	4,167
小計	△96,229	9,564
助成金の受取額	116,899	19,175
違約金の受取額	5,480	3,651
利息の受取額	1,043	2,359
利息の支払額	△77,903	△17,833
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	4,545	△121,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	△46,164	△104,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,303	△563
事業譲渡による収入	582,460	－
敷金及び保証金の差入による支出	△29,707	△773
敷金及び保証金の回収による収入	295,119	50,300
その他	△659	△2,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	843,909	46,925
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	158,000	△70,000
長期借入れによる収入	200,000	－
長期借入金の返済による支出	△470,894	△132,752
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△55,340	△11,787
ストックオプションの行使による収入	140,766	－
配当金の支払額	－	△27,572
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,468	△272,112
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	740,276	△329,387
現金及び現金同等物の期首残高	814,999	1,617,219
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,555,275	1,287,831

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．配当金支払額

無配のため、該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額（千円）	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
2026年６月26日定時株主総会	普通株式	27,572	10.57	2026年３月31日	2026年６月29日	利益剰余金

２．基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書関係）

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
給料手当	740,706千円	525,055千円
退職給付費用	6,139千円	4,403千円
賞与引当金繰入額	48,875千円	30,051千円
役員退職慰労引当金繰入額	－千円	4,581千円

（中間連結キャッシュ・フロー計算書関係）

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金勘定	1,555,275千円	1,287,831千円
現金及び現金同等物	1,555,275千円	1,287,831千円

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	中間連結財務諸表計上額（注）３
	マッサージ直営	マッサージフランチャイズ	メディカルケア	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,105,413	563,645	1,916,022	4,585,081	8,006	－	4,593,087
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	36,600	△36,600	－
計	2,105,413	563,645	1,916,022	4,585,081	44,606	△36,600	4,593,087
セグメント利益又は損失（△）	634,463	149,496	△138,727	645,231	74	△567,295	78,011

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問介護事業及び居宅介護支援事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	中間連結財務諸表計上額（注）３
	マッサージ直営	マッサージフランチャイズ	メディカルケア	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,187,803	547,518	480,827	3,216,149	17,787	－	3,233,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	106,092	△106,092	－
計	2,187,803	547,518	480,827	3,216,149	123,879	△106,092	3,233,936
セグメント利益又は損失（△）	502,916	108,801	49,362	661,080	△8,965	△470,817	181,296

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問介護事業及び居宅介護支援事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

（収益認識関係）

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	マッサージ直営	マッサージフランチャイズ	メディカルケア	計		
＜財又はサービスの種類別の内訳＞						
訪問マッサージ	2,105,413	－	－	2,105,413	－	2,105,413
フランチャイズロイヤリティ	－	332,981	－	332,981	－	332,981
その他のフランチャイズ加盟店向けサービス	－	209,088	－	209,088	－	209,088
介護施設サービス	－	－	1,916,022	1,916,022	－	1,916,022
その他	－	－	－	－	8,006	8,006
顧客との契約から生じる収益	2,105,413	542,069	1,916,022	4,563,505	8,006	4,571,511
その他の収益	－	21,576	－	21,576	－	21,576
外部顧客への売上高	2,105,413	563,645	1,916,022	4,585,081	8,006	4,593,087

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問介護事業及び居宅介護支援事業等を含んでおります。
２．その他の収益は、主として企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース取引の収益が含まれております。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	マッサージ直営	マッサージフランチャイズ	メディカルケア	計		
＜財又はサービスの種類別の内訳＞						
訪問マッサージ	2,187,803	－	－	2,187,803	－	2,187,803
フランチャイズロイヤリティ	－	371,366	－	371,366	－	371,366
その他のフランチャイズ加盟店向けサービス	－	153,255	－	153,255	－	153,255
介護施設サービス	－	－	480,827	480,827	－	480,827
その他	－	－	－	－	17,787	17,787
顧客との契約から生じる収益	2,187,803	524,621	480,827	3,193,253	17,787	3,211,040
その他の収益	－	22,896	－	22,896	－	22,896
外部顧客への売上高	2,187,803	547,518	480,827	3,216,149	17,787	3,233,936

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問介護事業及び居宅介護支援事業等を含んでおります。
２．その他の収益は、主として企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース取引の収益が含まれております。